

**製品名: SAPAP1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17600**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	108kDa

**抗原情報**

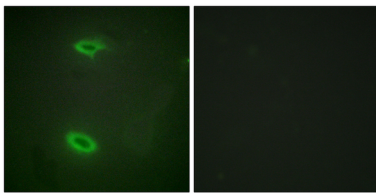
遺伝子名	DLGAP1 DLGAP1; DAP1; GKAP; Disks large-associated protein 1; DAP-1; Guanylate kinase-associated
別名	protein; hGKAP; PSD-95/SAP90-binding protein 1; SAP90/PSD-95-associated protein 1; SAPAP1
遺伝子 ID	9229.0
SwissProt ID	O14490
免疫原	抗血清はヒト DLGAP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 791-840

**背景**

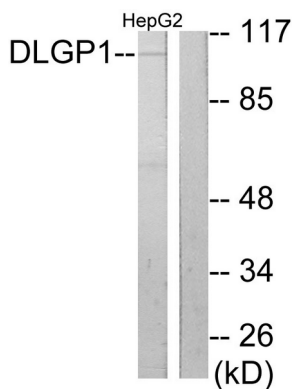
機能: 神経細胞のシナプス後層構造の一部。類似性: SAPAP ファミリーに属する。細胞内局在: 神経細胞のシナプス後層に存在。サブユニット: DLG1、DLG2、DLG3、DLG4、AIP1 のグアニル酸キナーゼ様ドメインと相互作用する。SHANK1、SHANK2、SHANK3 の PDZ ドメインと相互作用する。DLG4 と SHANK1、SHANK2、または SHANK3 との複合体を形成する。DLG4 と BEGAIN との複合体を形成する。DYL2 および LRFN1 と相互作用します。組織特異性: 脳で発現します。機能: 神経細胞のシナプス後層の一部です。類似性: SAPAP ファミリーに属します。細胞内局在: 神経細胞のシナプス後層に存在します。サブユニット: DLG1、DLG2、DLG3、DLG4、AIP1 のグアニル酸キナーゼ様ドメインと相互作用します。SHANK1、SHANK2、SHANK3 の PDZ ドメインと相互作用します。DLG4 と SHANK1、SHANK2、または SHANK3 との複合体として存在します。DLG4 と BEGAIN との複合体として存在します。DYL2 および LRFN1 と相互作用します。組織特異性: 脳で発現します。

## 研究分野

## 画像データ



DLGP1 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



DLGP1 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



SAPAP1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析